大正八年瑞西ベルンニ於テ外務協和会議ノ仏国ハベルサイユニ開催サルルニ先チ第一回労働大会準備会ノ開カルルヤ会長鈴木文治ハ之ニ参列スヘク大正七年十月各支部総会ニテ寄附金募集ノ書面ヲ発送シ十二月三十日横浜出帆ノ春洋丸ニテ渡欧セリ之ニ先チ十二月二十八日東京都下各新聞社代表者ヲ本部ニ招待シテ今回ノ講和会議ノ重要ナルハ喋々スル迄モナケレトモ其内特ニ重大ナルハ労働問題ナラン彼ノ英国労働党ノ発表セル政綱中ニモ国際労働同盟ヲ基礎トセル平和ノ確立ナル一項アリ又仏国下院ニ於テ国際労働法ノ制定ヲ政府ニ勧告スヘシトノ提案ヲ採決セル等ノ趨勢ヨリ望スレハ各国労働者ハ筆ヲ揃ヘテ国際労働法ノ制定ヲ渇望セルナラン而シテ余ガ渡欧ニ際テハ本年四月友愛会六週年大会ガ大阪ニ於テ開催セラレシトキ満場一致ヲ以テ講和会議ニ伴ヒ行ハルヘキ万国労働大会ニ代表者ヲ出席セシムヘキ事ヲ決議シアルモノナリ而シテ数年前渡米セル時米国労働党首領ゴンパースト共ニ会見シ居ルニ付今回ハ好都合ト思料スルニ付渡欧ノ理由ヲ説明セリ而シテ鈴木ガ渡欧中ニ於ケル会務ハ評議員北沢新次郎代リテ之ヲ処理セリ鈴木ガ該大会ニ於テ提出セル議案左ノ如シ

八

(二)移民権、　(三)民族平等取扱

会長渡欧スルト共ニ鈴木ハ大正八年七月十七日横浜入港ノ春洋丸ニテ帰国シ我講和委員ノ態度ヲ非難シ且ツ本年十月華盛頓ニ万国労働会議ノ開カルヘキモ我国ノ派遣員ニシテ意ニ満タサランカ我友愛会ハ反対運動ヲ起スモ辞セサル方針ナリ之ニ関シテハゴンパーストモ了解ヲ得テルヲ以テ場合ニ依ツテハ米国労働総同盟モ亦反対ノ態度ヲ表明スヘキ計画アリト声明シテ自己ノ代表選出ニ関スル希望ヲ諷刺シ居リタリシガ十月ニ至リ我政府ノ代表員ヲ選出サルルヤ友愛会ハ各種労働団体ヲ糾合シテ反対運動ヲ開始シ会ノ代表ガ横浜出帆ノ当日前ノ如キハ会員中検束者ヲ出スガ如キ状勢ナリシガ遂ニ目的ヲ達スルヲ得ス而モ其運動ハ労務執拗ニ過キ一般識者ノ排斥ヲ招クニ至レリ





五、組織及幹部員ノ異動

会員ヲ分リテ左ノ五種トス

一、正会員ハ満十八才以上ノ男子労働者ニシテ本会ノ主義綱領及会則ヲ遵守スルコトヲ誓約シタルモノ

二、準会員ハ満十五才以上ノ女子労働者ニシテ本会ノ主義綱領及会則ヲ遵守スルコトヲ誓約シタルモノ

三、賛助員ハ労働者以外ノ人ニシテ本会ノ主義綱領ヲ賛成シ且ツ毎月金二十銭以上ノ会費ヲ納ムルモノ

四、特別賛助会員ハ労働者以外ノ人ニシテ本会ノ主義綱領ニ賛成シ且ツ毎月五十銭以上ノ会費ヲ納ムルモノ

五、名誉会員ハ前掲四項以外ニシテ学識名望アリ且ツ本会ノ主義綱領ニ賛成シ並ニ其発達ヲ助長スル特別ノ情誼アル者ニシテ本会ノ推薦シタルモノ

以上ノ趣旨ニ基キ男女若クハ職業別ノ如何ヲ問ハズ総テノ労働階級ヲ網羅シテ会員ヲ組織シ正準会員ハ一人ニ付毎月会費十銭宛ヲ徴収シ機関トシテ会長一名顧問三名講師及評議員主事書記若干名ヲ置キ会務ヲ処理セリ会長ハ会ヲ代表シテ会務ヲ執リ本会ニ於ケル一切ノ責ニ任シ顧問及評議員ハ各一流ノ学者名望家ヲ嘱シ会ノ諮問ニ応シ其発展ヲ助クルヲ目的トセリ又各所ニ支部ヲ置キ支部長以下幹事会計等ノ役員ヲ置クコトトシ会長及支部長ハ一年毎ニ幹事検査役等ハ六ケ月毎ニ改選スルモノトス

会長ハ鈴木文治創立以来継続推選セラレ大正七年三月会計部長酒井亀作辞任シ室蘭支部長松岡駒吉入リテ其後ヲ襲ヘリ今年六月横浜地方出張所ヲ設置スルヤ幹事松倉定四郎其主任トナリ今年七月講演部長神谷次郎七辞任今年十一月元横浜地方裁判所司法官試補法学士棚橋小虎入リテ事務見習トナリ十一月三十日出版部長野坂参三辞任平沢計七其後ヲ襲ヒ大正八年一月主事兼横浜出張所主任松倉定四郎辞職セリ今入リ於